

群馬県河川協会 発行
(事務局：群馬県河川課)

八瀬川(中流工区)の改修が完了!!

一級河川八瀬川は、太田市の市街地中心部を流れ、太田市南端で石田川に合流する河川です。

八瀬川沿川の市街化が進む中、川の断面が小さいことから、過去に幾度となく浸水被害が発生していました。このため、群馬県では浸水被害の軽減に向け、約630mの区間について、太田市が進めている太田駅周辺土地区画整理事業と協調して、平成7年度から八瀬川(中流工区)として河川を付け替えて川幅を拡げる改修を進め、令和6年度に完成しました。

今後も引き続き、県内の浸水被害軽減に向けた防災・減災対策を推進していきます。



川断面が小さく、大雨時に氾濫し、浸水被害が発生するおそれがありました。



川幅を拡げることで、流せる水の量を増やし、氾濫による浸水リスクを軽減します。

(河川課川づくり係)

塩沢ダム(蛇神湖)の紹介 ～蛇にまつわる伝承～

令和7年の干支は、「巳年」です。

今回は、塩沢ダムのダム湖が「蛇神湖」と命名された由来についてご紹介します。

なぜ「蛇神」なのか？ 神流町に伝わるこんな昔話があります…

塩沢ダムは、神流町の最高峰である、赤久縄山^{あかぐなやま}を源とする塩沢川に築かれています。その昔、赤久縄山一帯は深い原生林に覆われ、村人が容易に足を踏み入れることができないほどでした。

塩沢川の源流近くにある早滝^{はやたき}は、昼なお暗く、蔦や葛が絡まりあい、鬱蒼とした森に包まれていました。滝壺には蒼く澄んだ水が湛えられ、冷たい霧と水しぶきが立ちのぼる“まぼろしの滝”と呼ばれるたいへん美しい滝です。



あるとき、村人がこの早滝を一目見ようと、川を遡り、谷を渡り、深い森の奥へと足を踏み入れました。奥へ進むほど谷は狭まり、足場はどんどん滑りやすくなっていきます。それでも岩肌を這い、木の根につかまりながら、ようやく早滝に辿り着きました。

滝を前にした村人は、林の中に横たわる朽ちた丸太に腰を下ろし、その美しさに目を奪われていました。しかし、次の瞬間、その丸太がズルーツと動き出しました。驚いてよく見ると、それは丸太ではなく、大蛇だったのです。村人はあまりの恐怖に、逃げることもできませんでした。

その大蛇こそ赤久縄山を神域とし、榛名山の蛇神と兄弟とされる「蛇の大神」でした。

後に村人たちは、この蛇の大神を「山を守り、村を守り、水を守る」神として崇めるようになりました。

また、この地はその神域の入り口であり、昔から蛇が多く棲んでいたことから、村人たちは自然とここを「蛇神」と呼ぶようになりました。

以来、蛇神様は、赤久縄山へ入る村人の山仕事の安全を守る山の神として、また下流域の人々にとっては、水の恵みをもたらし、水害を防ぐ水の神として広く信仰されるようになりました。

蛇神様は現在も、山の神、水の神、商売の神として塩沢ダム敷地内に祀られています。

塩沢ダム付近に祠があります。
探してみてください！



群馬県内のダムでは、ダムの特徴や魅力を紹介するダムカードを配布しています。ダムの歴史や技術、見どころなど様々な情報が掲載されています。是非コレクションしてみてください！

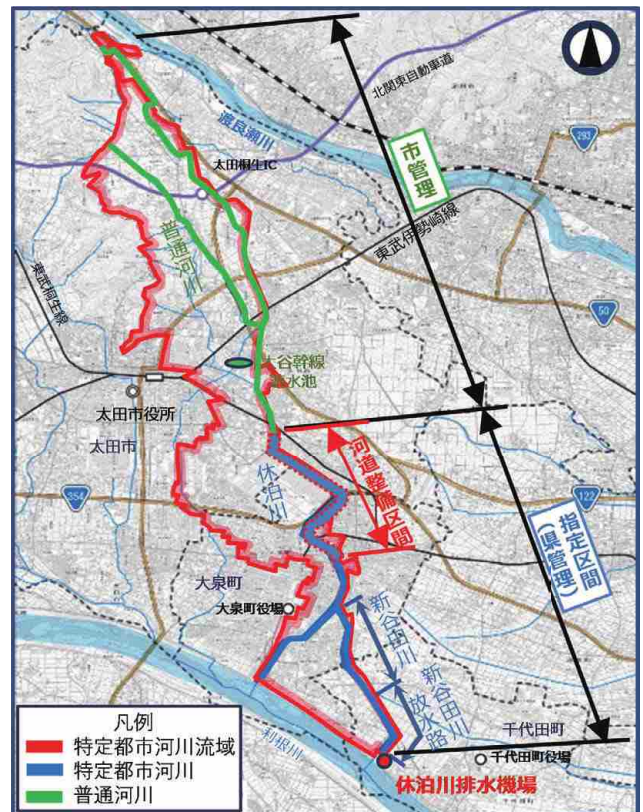
群馬県のダムカード配布場所



休泊川流域水害対策計画の策定について

令和元年東日本台風で被害が多く発生した休泊川等流域において、河川管理者による治水対策だけでなく、流域関係者による内水対策も含めた「流域治水」を推進するため、令和5年12月に休泊川、新谷田川、新谷田川放水路及びその流域を「特定都市河川」及び「特定都市河川流域」に指定しました。

河川管理者・下水道管理者・農業関係者・森林管理者及び流域自治体で構成する協議会において、流域の浸水被害対策の検討を進め、令和7年5月15日に、「休泊川流域水害対策計画」を定めました。



特定都市河川・特定都市河川流域

◆休泊川流域水害対策計画の概要

【計画概要】 令和元年東日本台風の降雨に対して、概ね20年間で、特定都市河川流域での対策により、床上浸水被害の解消・床下浸水被害の軽減を図ります。

【主な浸水被害対策】

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

- 河道整備
- 排水機場の増強
- 公共施設への雨水貯留浸透施設の整備
- 貯留機能保全区域の指定 等



河川管理者による河川改修



②被害対象を減少させるための対策

- 浸水被害防止区域の指定
- 立地適正化計画(防災指針)の活用 等

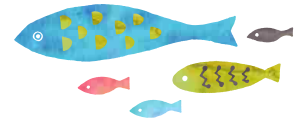
③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 住民の水害リスクに対する住民理解促進
- マイ・タイムラインの作成促進 等



マイ・タイムラインの作成講習会

第74回利根川治水同盟治水大会



山本知事による開催県代表挨拶

利根川治水同盟は利根川流域1都5県の自治体等で構成され、昭和22年9月のカスリーン台風による被災を契機に発足し、「水害の防止と豊かな水資源の確保」を目指して、各地での治水大会の開催や国会及び政府関係者への要望活動を行う団体です。

第74回大会は、令和6年7月30日に高崎芸術劇場にて参加者800名以上を迎えて盛大に開催され、今後の国への要望として、事業の着実な推進と河川環境の整備促進などを求める決議を行いました。

(河川課河川管理係)

「優良河川愛護団体表彰式」を開催!!



令和6年7月5日に県と河川協会の共催で、長年にわたり河川愛護や美化活動に尽力されている団体や個人の方を表彰する「優良河川愛護団体表彰式」を開催しました。

受賞団体の皆様、この度は誠にありがとうございます。そして日頃から地域の河川愛護活動にご尽力いただき、ありがとうございます!

【参列者】

県:津久井副知事、宮前県土整備部長

県議会:須藤県議会議長、松本産経土木常任委員長

河川協会:荒木会長(桐生市長)

【受賞団体】10団体(順不同)

関根町自治会(前橋市)、中村地区茂沢会(渋川市)、長沼本郷町葦川をきれいにする会(伊勢崎市)、白川辻区河川愛護会(高崎市)、上野村第3区(上野村)、秋間第一区一班自治会(安中市)、干俣の川をきれいにする会(嬬恋村)、太田市大館町西耕地地区(太田市)、菱町一色ハイキング愛好会(桐生市)、加法師川をきれいにする会(館林市)

(群馬県河川協会事務局)

* あ と が き *

◆ニュースレターへの掲載希望や、ご意見・ご質問がございましたら、下記送付先までご連絡ください。
河川愛護活動や川づくりへの取り組みに関する情報を特に募集しております。

【送付先】群馬県 県土整備部 河川課 河川管理係 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

TEL:027-226-3612/FAX:027-224-1368

E-mail:kasenska@pref.gunma.lg.jp

◆川便りは群馬県河川課のホームページにてデータでもご覧いただけます。

HPはこちら



© 群馬県ぐんまちゃん
00431-05